

8/21 チアダンス世界大会の優勝者たちが表敬訪問！



5月にアメリカのフロリダ州ディズニーワールド内で開催された「THE DANCE SUMMIT 2019」のSmall Junior Pom部門で優勝したチアダンスチーム「ピンクダイヤモンド」のメンバーのうち、北本市在住の廣岡迪智子さん(東中3年)、石川華楓さん(東中3年)、加藤優奈さん(東中2年)、下田瑚都さん(高校1年)の4人が市長を表敬訪問し、大会の結果を報告しました。

4人は「この一年間、世界の舞台を目標に努力してきたので、出場できたことはとてもうれしかった。世界大会は、普段と違う環境で緊張したが、メンバーが団結してチャンピオンに輝くことができ、今後の自信に繋がった。また、世界大会に出場して、

視野が広がるとともに、今後の夢や目標の幅も広がり、大いに刺激になった。」と話していました。



9/1 初開催!マルシェ「みどりといち」



初のイベント「みどりといち」が北本市役所の芝生広場で開催され、市内外から多くの来場者で賑わいました。「みどりが近い北本の暮らしを体験する贅沢なマーケット」をコンセプトに、市内の若手農家さんや近隣のこだわりあるお店が軒を連ねました。生バンドの演奏の中、とれたて野菜に美味しい食べ物、素敵な雑貨やワークショップなど、楽しいマーケットに子どもから大人まで多くの笑顔であふれていました。

市民の手で作り上げる!伝統ある「ねぶた絵」にチャレンジ

突撃!  
市民リポーター

北本市の一大イベント「北本まつり」の季節が近づいてきました! たくさん見所がある中、初日の宵まつりの最大の山場といえは…迫力満点の「ねぶた」ですよね!今年披露される新しいねぶた絵を描くことができる講習会が開かれると知り、参加してきました。

講習会を率いるのは、本場である青森県弘前市のねぶた絵師から知識や技を学んだ「北本ねぶた絵師会」の皆さん。今回は、約20人の参加者で、山車の土台となる「額」と鏡絵の受け皿にあたる「開き」部分の絵を、2日間かけて制作しました。鉛筆での「下書き」・染料のにじみを防ぎ、照明に当たるとより明るく見える効果を持つ「蛸引き」・職人の技術が光る「色付け」を体験し、「筆の使い方が勉強になった」「濃淡を描くのが難しかった」など、参加者からは様々な感想が聞かれました。ねぶた絵の奥深さを学べたのはもちろん、参加者全員で一つの作品を作り上げるという、喜びや楽しさも味わうことができました。

今まではただ見るだけだったねぶたですが、今年は今回描いたねぶた絵を探したり、ねぶた絵の手法などをじっくり鑑賞したいなあと思っています。参加したことでいつもとは違った楽しみ方ができそう!

関東最大級のねぶたまつりと呼ばれる北本まつり「宵まつり」。今年も楽しみですねー!!

詳しくは市ホームページへ

市民リポーター

検索



北本中学校美術部の皆さん



市の花である菊の絵を描きました



絵師の繊細かつ迷いのない筆使いに感動



リポーター  
飯嶋 沙織さん